

■石光真清 陸軍軍人、諜報活動家。シベリア、満州でのスパイとして、日本近代史の裏面に生きた。

いしみつまきよ

明治維新・・・1868＝ 現在の熊本市本山町で、身分の軽い武士ながら細川家が肥後入国の時からお供をした家柄の、特別の取り扱いを受けていた熊本藩士で産物方頭取を務める石光真民の四男に生まれる。母は守家。幼名は正三。  
初の日刊新聞1870＝ 2歳：弟真臣が誕生。

明治6年政変 1873＝ 5歳：次男、三男が夭折していたため、実質的には次男として育つ。

三つの内乱・1876＝ 8歳：この年、熊本で神風連の乱が起き、  
西南戦争・・・1877＝ 9歳：父が死去。続いて、西南戦争が起きるといふ動乱の中に過ごし、

明治14年政変1881＝13歳：

岩倉具視没・1883＝15歳：陸軍幼年学校に入る。

帝国大学始・1886＝18歳：

帝国憲法発布1889＝21歳：陸軍士官学校を卒業(旧11期)、少尉として、近衛歩兵第2連隊付となる。

足尾鉍毒始・1891＝23歳：大津事件に遭遇して、ロシア研究を始め、

日清戦争始・1894＝26歳：

日清戦争終・1895＝27歳：日清戦争では、中尉として台湾に出征して、ロシア研究の必要を痛感して帰国、

白馬会・・・1896＝28歳：歩兵第9連隊付。ロシア留学を許可されると、

八幡製鉄始・1897＝29歳：この年、叔父野田豁通が陸軍会計のトップ監督総監になる。幼年学校教官。第9連隊付(大尉)。

子規句歌革新1898＝30歳：参謀本部付。

Bushidou・・・1899＝31歳：\*休職し、私費でロシアに渡航、留学先のブラゴヴェシチェンスクのロシア帝国軍人の家庭に寄寓、

ピアノ国産化・1900＝32歳：当地のアムール河岸でのロシアによる清国人虐殺事件が起きると、諜報活動を命じられ、偶然知った中国人馬賊の斡旋でハルビンに赴き、ひとまず洗濯屋を開業、

田中正造直訴1901＝33歳：正式な予算もついで、写真館を設立、軍の諜報機関であることが露見するのを怖れ、苦悩の末、退役を決断、予備役となる。やがて、ロシア軍御用写真師になり、大陸に渡ってくる志士らの集まる拠点になる。

教科書疑獄・1902＝34歳：この年、日英同盟が成立、ロシアが満州から撤兵する圧力になるはずが、南満州を視察した結果、逆に経営拡大しているのを目の当たりにし、それを知った本国では、一気に対露強硬論が浮上、

日露戦争始・1904＝36歳：日露戦争が始ると、帰国を余儀なくされた上、召集されて、第二軍司令部副官として出征、遼東守備軍付、得利寺兵站司令官、第2軍管理部長となるが、

日露戦争終・1905＝37歳：日露戦争は勝利に終わり、

満鉄発足・・・1906＝38歳：関東都督府陸軍部付通訳。\*召集解除され、復員するも、自らは職を失い、

韓国反日暴動1907＝39歳：日清通商公司長春支店長となるが、

アヲボ創刊・1908＝40歳：会社解散となって、結局、帰国。

伊藤博文暗殺1909＝41歳：東京世田谷の三等郵便局長などとして、経済的苦境をしのぐうち、

明治天皇没・1912＝44歳：

大正政変・・・1913＝45歳：

ロシア革命・1917＝49歳：\*ロシア革命が起こると、関東都督府陸軍部囑託となって、再びシベリアに渡り、アレクセーフスクに付近に駐在して諜報活動に従事。

本格政党内閣1918＝50歳：シベリア出兵に召集され、シベリア派遣軍司令部付、アムール政府付となり、ロシア革命の動乱の中で、命がけの活動をするが、

ベルリン条約・1919＝51歳：この年、弟真臣が陸軍中將。召集解除。貿易会社の破綻など負債を抱えるなか、錦州に特務機関設置。

原敬首相暗殺1921＝53歳：朝鮮人の満州移住水田開発事業や朝鮮協会設立などに関わるが、後備役も満期となり、

水平社結成・1922＝54歳：

護憲三派圧勝1924＝56歳：\*会社を放棄して帰国し、隠棲。

夫人の死や負債等、経済的苦境は変わらず、失意の日を送り、

満州事変・・・1931＝63歳：

日中戦争始・1937＝69歳：弟真臣が死去。

健保+総動員 1938＝70歳：脳溢血で倒れ、

大政翼賛会・1940＝72歳：

日米開戦・・・1941＝73歳：長子真人が、手記を編集して「諜報記」として出版、その活動がようやく世に知られるなか、

・・・・・・1942＝74歳：没した。

のち長子真人の手により、四部作「城下の人」「曠野の花」「望郷の歌」「誰のために」となって出版される。